

近代化遺産に命を吹き込む市民活動
愛岐トンネル群
緑の回廊プロジェクト



【事業の目的】

発見した産業遺産を保存活用そして観光資源として次世代へ



発見当時の
3号トンネル

【事業の目的】

発見した産業遺産を保存活用そして観光資源として次世代へ



発見当時の
3号トンネル

開拓後の3号トンネル



一般公開風景



(春・秋の年2回)



【事業の内容】

調査・整備、公開の啓蒙活動。エリア延伸によるフットパスへの折衝。鉄道関連団体とのネットワークづくりへ。

【事業の成果】一例

自生する樹木・草花・昆虫を調査

■ 樹木類

イロハモミジ123本など、
54種610本

■ 草花類

絶滅危惧種ヤブサンザシをはじめ笹ゆり、春蘭など160種が復活

■ 動物・昆虫類

ニホンカモシカやリスの他276種の昆虫を発見。国内でも非常に珍しい特別な生態系を有する地域と評価される。

【事業実施後の課題】
愛岐トンネル群を視察、その意図は・・・・・。



名古屋市所有地内にある

次のトンネル(7号)の状況



全長6百mに瓦礫が廃棄



【今後の展開】

■ 「あいちトリエンナーレ」に連動した現代アート展を開催。（若者を集客する手段）

■ 古民家を改装してビジターセンターを開設し、来場者対応と資料展示。

（研究資料や現地残存物の四散を防ぐ）

■ 持続的活用に不可欠な運営母体を構築する必要がある。

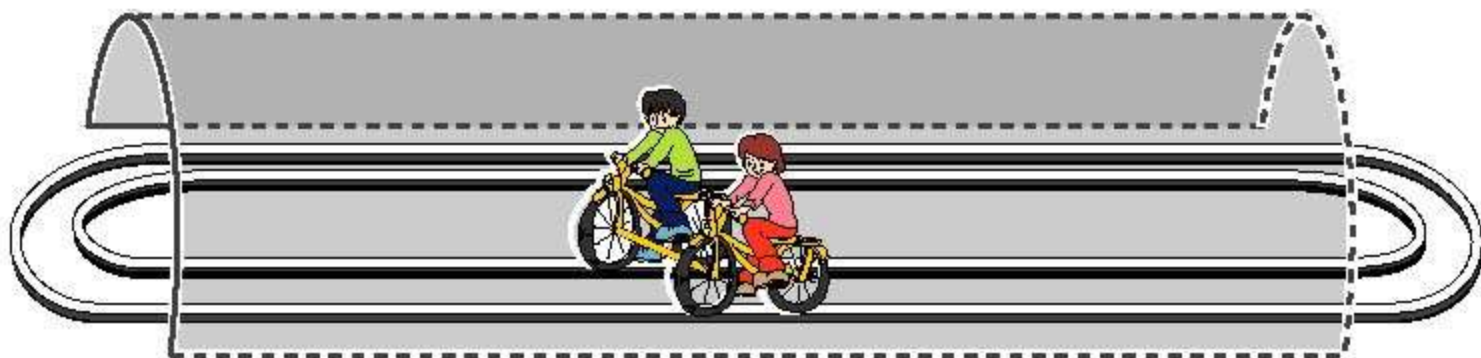
●トンネル内自走式自転車による通行システム

※ 20～30m程度の試験線を5号又は6号丁に設けたい。

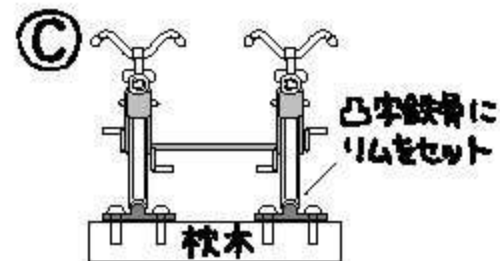
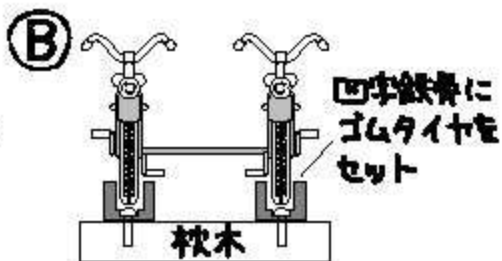
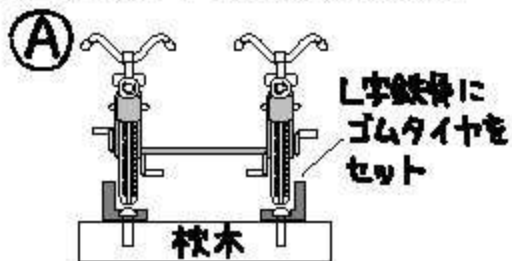
- ①トンネル内軌道上に往復レール(鉄骨)を敷設
- ②自転車2台を並列連結
- ③自転車の自家発電ライトで通行

研究ポイント

- トンネル両出口での車輛Uターン(回転)方法
- レール上への車輛設置方法
- 使用自転車は放置自転車を活用



★自転車リム設置方法★



他の参考: 岐阜・神岡鉱山鉄道他、HPで「レールバイク」を検索